

# 「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和4年9月2日（金） NO15 文責 木下 文秋

## 体育大会の練習で思うこと

8月30日（火）から体育大会の練習が始まりました。今年の体育大会は以前文書でお知らせしたとおり、町長町議会選挙の関係で平日の開催となっています。本来ならば休日に多くの保護者をお招きして開催したいところですが、町唯一の学校でもありますし、コロナ感染のことも考えると仕方ありません。以前通信にも書いたように、私は平成10年から17年までこの学校に勤務していたのですが、この4月に戻ってきたものの、全校集会もしていないし、殆どの行事がリモートだったので、生徒の活動の様子を目の当たりにする機会がなく、あまり三股に戻ってきたという実感がありません。それが、先日体育大会の練習に参加して初めて「三股中の圧」を感じる事ができました。赤白青团のかけ声や行進、そして人の塊を見て、20年以上前の体育大会の練習を思い出す事ができました。マスク越しに精一杯の声を張り上げて、団の生徒を盛り上げようとする団長やリーダーの頑張りを見ていて元気が出ます。3年生は入学したときからコロナ感染の影響を受けてしまいました。修学旅行は中止となり、多くの学校行事に制限がかかったり、規模が縮小されたりしました。マスク着用でうまくコミュニケーションが取れない生徒もいたと思います。振り返ればいいことなど一つもなかったと言われても仕方ないかもしれません。しかし、見返してやりましょう！3人の団顧問の先生と気持ちを一つにして、赤青白という団の枠を超えて、3年生というチームで体育大会に臨んでください。そして、この3年間で叶わなかったことや、失ったものをすべて取り戻しましょう。過去最高の歴史的な体育大会にすることを期待します。そのために絶対不可欠なことがあります。それは、1、2年生の熱意です。3年生に最高の恩返しをするつもりで、全力で走り競技をしてください。人が一生懸命物事に取り組む姿は見ている人に感動を与えます。1、2年生が必死になって体育大会に臨めば、3年生に勇気と感動を与えるはずで、そしてそれは伝統となり後輩に引き継がれていきます。チーム三股で心を一つに最高の体育大会にしましょう！

